
空の意味

海上なつ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空の意味

【著者名】

N7051E

海上なつ

【あらすじ】

一人の悩める少年が、とても短い心の旅をする。自分で抱えたものの答えを探し出すまでの、少年の気持ちを綴る。

この公園は、午後になると騒がしくなる。

それらはきっと、長くは続かない。その分、儂くて綺麗なものだから。

心臓のないものがつくるざわめき。
感情表現できないものが出す鳴き声。

耳を傾ける必要はない。自然と入ってくる。

でも孤独の人間には、ただうるさいだけ。
でも弧獨はくの人間には、ただうるさいだけ。

無造作に足を動かしてみる。

最初から目的地も帰る場所も、僕にはないんだ。

足を止めたのは静かな公園。

まだ今日が始まったばかりだから、聞こえるのはほんの小さな音だけ。

人の喋り声。
機械の音。

ゆっくり街を見渡す。すぐに聞こえてくる音。
太陽がはっきりと世界の色を映す。
初めに見たものがそれ。よく晴れた空。
でも僕には何もやることがない。
誰かにこの感動を伝えたいとも思わない。

その空間でさえも、違う時を感じて景色を変えてしまうんだ。
全部同じで、どこへ行つても感情が変わらない世界だつたら、
きっと、心も、帰る場所も、いらなくなつて、失つていく。

そんな世界で生きている以上、現実の関係に疲れる事は当たり前。
だからこそ、自分の心を休める所が必要なんだ。
必要だから、何処かに必ず在るはず。

場所それさえ探せたら、少しほは楽になると思つんだ。

僕は一度目の空を見上げた。

さつきと表情いろが微妙に違つた。

今日は、この気持ちが変わらないいつちに去ひりつ。

僕は考える。

みんな結局個人ひとりで、感情は無限。

そして帰る場所は、それぞれひとつずつ。

好きな物、好きな人。そんなものは少し周りを意識すれば簡単に見
つかる。

それだけで十分。

誰にだつてできる事。

やつと答えを見つけた。

もう道に迷わないだらう。

一本に続く、僕だけの道。

途中でどんな障害があつても、その先は心から安らげる場所とつな
がっていますように……。

(後書き)

読んで下さってありがとうございましたー空音です。

空はよく人の感情に例えられる。

きっと何か近いものがあるんじゃないかなと思います。
ひとりで悩んだら、自然の音に耳を傾けてみて下さい。
ちょっと視点を変えることで、悩みの解決策がつかぶこともあると
思うんです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7051e/>

空の意味

2010年12月28日02時45分発行